

平成 25 年 3 月吉日

古民家蕎麦屋を愛する会 発足のお知らせ

私たち江戸ソバリエは、江戸蕎麦の老舗、ニューウェーブ店、名店、人気店等で美味しいお蕎麦を食べ歩いてきました。

しかし、他にも地元の人に愛され生活に密着したいいわゆる街場の蕎麦屋さんや、大正、昭和に創業して長年営業を続けてきた歴史的な和風建築物「古民家蕎麦屋」の存在も見逃せません。また、こうした蕎麦屋さんは現代の再開発の波によって次第に少なくなりつつあるようです。

そこで私たちは蕎麦の歴史、文化そのものを物語る貴重な建物（蕎麦屋）と、そこで生業としている人々に触れ合うことができればという考えに至りました。

「古民家蕎麦屋を愛する会」などというネーミングにはなにか面はゆい気もするのですが、そんな古い蕎麦屋さんで年に三、四回訪ねて蕎麦を食べる。

昼もよし、夜に一献傾けるもよし、たまには親父の話も聞ける。そんな気軽な会があってもいいじゃないかということで発足しました。

興味のある方は是非ご参加ください。第一夜は下記の通り行います、参加をお待ちいたします。

尚、この会の発足に当たっては江戸ソバリエ協会に多大なご協力を頂きました。

— 記 —

日時：2013年4月24日（水）18：30～

会場：虎ノ門「砂場」（2階座敷）

港区虎ノ門 1-10-6 TEL03-3501-9661

人数：13名程度（人数超える場合は抽選とさせていただきます）

内容：五代目店主稲垣隆一さんのお話とお蕎麦

会費：¥4000程度

申込：伊嶋みのるまで（090-5306-2412・mayolimagi@ybb.ne.jp）

参考：「蕎麦春秋」vol.25 ほしひかる筆「暖簾めぐり⑫砂場」

主催：古民家蕎麦屋を愛する会

共催：特定非営利活動法人 江戸ソバリエ協会